

農山漁村地域整備計画 事前評価結果

計画の概要	計画の名称	ふれあい畜産機能強化事業整備計画
	計画策定主体	福井県
	対象市町村	坂井市・大野市・勝山市・若狭町
	計画の期間	平成22年度～平成24年度（3年間）
	計画の目標	畜産経営の合理化を促進するとともに、生産の現場として利用されている草地等について、草地景観の多目的機能を活用し、地域住民の憩いの場、教育の場として提供しつつ、地域の自然・環境に配慮した草地整備や施設整備を行い、もって地域畜産の持続的発展と生活環境の改善および地域社会の活性化を図る。
	定量的指標	公共牧場の来場者数の増加 3万人→4万4千人
	対象事業	畜産環境総合整備事業
	全体事業費	158,686千円

	項目	評価細目	評価	説明
評価	目標の妥当性	1. 関連する計画との整合性が図られているか	○	本整備計画は、「福井県酪農・肉用牛生産近代化計画」等各種施策との整合性が図られている。
		2. 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	本整備計画は、畜産業を取り巻く現状や課題を整理し、畜産の持つ「動物とのふれあい機能」を充分発揮できるような内容となっており、一般県民へ憩いや教育の場を提供するとともに畜産への理解醸成に役立つものである。
	整備計画の効果・効率性	1. 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	目標は、地域住民への憩いや教育の場を提供することであり、指標は各施設への来場者を増やすこととしており整合性は取れている。
		2. 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	指標については、事業終了後確実に確認できるものとなっているため、事後評価は充分可能である。
		3. 構成事業の実施による効果の評価するための指標として適切なものとなっているか	○	事業実施により、発現する効果として適切な指標となっている。
	整備計画の実現可能性	1. 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	事業実施場所は、県有地であり反対等もなく円滑な事業執行の環境は整っている。
		2. 地元の機運が醸成されているか	○	事業実施に際しては、地元からの意見を確認しているため、地元の機運は充分に醸成されている。
	評価結果	総合的に評価した結果、本計画は妥当と判断される。		

農山漁村地域整備計画における事後評価

整備計画名	ふれあい畜産機能強化事業整備計画
計画策定主体	福井県
対象市町	坂井市、勝山市、大野市、若狭町
計画期間	平成22年度～平成24年度（3ケ年）

1. 交付対象事業の進捗状況

(単位:千円)

事業名	地区	事業実施主体	総事業費	事業内容等
畜産環境総合整備事業	福井	(社)ふくい農林水産支援センター	155,900	草地整備改良 32ha 草地景観活用活性化施設整備 (動物舎、休憩所等)

2. 事業効果の発現状況

事業の実施により、住民が草地景観を活かした教育や憩いの場として利用機会の増加とともに地域畜産に対する理解を広めることが可能となった。

3. 成果目標の目標値の実現状況

成果目標	目標値の実現状況	達成率
公共牧場の来場者数の増加 3万人 ⇒ 4万4千人	53,231人※	121.0%

※来場者数は、目標達成年度平成26年度の実績

4. 今後の方針

整備環境を活かして積極的なイベント等を開催しながら、さらなる増員や畜産に対する住民理解を醸成することによって、将来の畜産担い手の育成や地産地消などの食育を推進する。